



2024.09.03

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

アストンマーティン VANQUISH 頂点に君臨するアイコンの帰還

- 伝説の Vanquish の名を復活させる唯一無二のヘイローモデルが新登場
- クラス最高の 835PS/1000Nm を発揮する新型 5.2 リッターV12 ツインターボエンジン
- アストンマーティン量産モデル最速の 345km/h の最高速度
- 新しいシャーシ構造でホイールベースが+80mm 延長
- 洗練された快適性、スーパーカーのパフォーマンス、ピンポイントなダイナミクスと
いうかつてない組み合わせが、フラッグシップの新たなベンチマークを確立
- 技術仕様のハイライトはビルシュタイン DTX ダンパー、エレクトロニック・リア・デ
ィファレンシャル、AML 専用 21 インチ・ピレリ P Zero タイヤなど
- 最新のウルトラ・ラグジュアリーインテリアの特徴はルーフ全長に及ぶパノラミック
ク・ガラスルーフとビスポークの最先端インフォテインメント・システム
- 年間 1000 台以下の限定生産、デリバリーは第 4 四半期に開始予定



2024 年 9 月 2 日、ベニス（イタリア）：

アストンマーティンは、その 111 年の歴史の中で最もパワフルなフラッグシップ・モデルを発表するにあたり、伝説的な Vanquish の名を復活させます。

真のクラス最高峰に君臨するにふさわしい技術的な傑作である Vanquish は、アストンマーティンの名高いフロントエンジン・スポーツカーの頂点にあって、その卓越したエンジニアリング力を示す新たな伝説として、王家の血統を見事に継承しています。

画期的な実力を誇る世界最高レベルの V12 エンジン、最先端のダイナミクス技術の詰まった専用シャーシ、比類ない存在感を放つカーボンファイバー製ボディワーク、モダン・ラグジュアリーに新たな基準を打ち立てるインテリアなどをハイライトとし、年間 1000 台以下の限定生産で、ウルトラ・ラグジュアリーの特異なアイコンとして王座に君臨します。

搭載エンジンは驚異的な最高出力 835PS、最大トルク 1000Nm の新型 5.2 リッター・ツインターボ V12 で、とてつもないインギア加速とアストンマーティンの量産モデル史上最速の最高速度 345km/h (214mph) がスーパーカーのパフォーマンスに新たなベンチマークを確立します。このようなかつてないパフォーマンスと効率性、内燃プロセスの全工程に磨きをかけてはじめて実現され、それでいて尚 世界の各市場の最新の排ガス規制を満たしています。

Vanquish は、これまでにないダイナミックな帯域幅を実現するために入念に改良を重ねたシャーシを特徴として、最高に洗練されたパワートレイン、シャーシ、ブレーキコントロール・システムの処理能力を活用し、大陸を走破する GT カーの長距離走行の快適性と、スーパーカーの精度、操作性、夢中になって楽しめるドライビングエクスペリエンスを融合した個性と実力の唯一無二の組み合わせを実現しています。

この輝かしい新型 V12 フラッグシップ・モデルについて、アストンマーティン取締役会長のローレンス・ストロールは次のように述べています。「Vanquish の登場は、アストンマーティンの次世代スポーツカーのポートフォリオの頂点を飾ります。あらゆる意味で真のヒーローモデルである Vanquish は、ウルトラ・ラグジュアリー・スポーツカー市場で最も強力で、最も美しく、最もエキサイティングな車を作るというアストンマーティンの使命をさらに果たしていくことを強調する声明であると言えます。その意味で、Vanquish はまさに真のアストンマーティンです。純粋なデザインと完璧なエンジニアリングで、新しい世代の愛好家に向けたパフォーマンス、スタイル、ラグジュアリーに、極めて高い新たな基準を打ち出しています。」

パワートレイン

お客様が求めているものを大切に、25 年にわたる V12 エンジン搭載フラッグシップ・モデルの血統の継承に心血を注ぐアストンマーティンは、その中核を成すスポーツカー・モデルでアストンマーティン史上最強の V12 エンジンを登場させました。クラストップレベルの最高出力 835PS、最大トルク 1000Nm を誇る新型 V12 エンジンは、他の追随を許しません。実際、アストンマーティンの V12 エンジンとしてはかつてない 160PS/L という比出力を実現しています。これが 2024 年の Vanquish を絶え間ない進化の頂点に押し上げ、V12 フラッグシップ・モデルの出力とトルクは 1999 年に発表されたプロジェクト・ヴァンテージ・コンセプトの約 2 倍に達しています。

新型 V12 エンジンのハイライトは、強化されたシリンダーブロックとコンロッド、再加工されたカムシャフトを組み込んだ再設計のシリンダーヘッド、新しいインテークポートとエキゾーストポートです。スパークプラグの位置を変更し、大流量の燃料インジェクターを採用することで、燃焼を最適化し、クラストップレベルのパフォーマンスと効率を実現しました。さらに、新開発の高速かつ低慣性のターボチャージャーにより、パフォーマンスとスロットル・レスポンスが向上しています。

これらのハイライトのいくつかを詳細に見ていくと、新型 V12 エンジンのパフォーマンス向上のために搭載された、最高速度を高めた (+15%) 低慣性のターボチャージャーはエキゾーストで増えたエネルギーを活用し、エンジンへの空気流量を増やします。新しい燃料インジェクターは流量が 10% 拡大し、排出量目標をクリアしながらのピーク出力を可能にします。

この最新世代のツインターボ V12 エンジンのレスポンスとパワーをかつてないほどまでに高めるため、Vanquish では新たにブースト・リザーブ機能も採用されました。この新技術は出力アップに対するレスポンスをさらに高め、特にオーバーテイク時やダイナミックな運転で力を発揮します。

ブースト・リザーブは、いかなるパーシャルスロットル開度でも、通常必要とされるターボブースト圧より高く圧力を高めておき、フルスロットルが必要となった場合にすぐに応答できるようにします。具体的には、パーシャルスロットル時にドライバーには感知されずに（吸気の流量を制限するための）スロットルのフラップの位置と（吸気圧力の微調整用の）ターボのインテリジェント・ウェイストゲートを、ドライバーの求めに応じられるように調整します。ドライバーがフルパワー、フルトルクを要求すると、スロットルは蓄積されたブースト圧を解放し即時のレスポンスを実現します。

アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1® チームのテクニカル・パートナーである Valvoline が提供する Vanquish 用の最新高性能エンジンオイルも、さらなるパフォーマンス向上に貢献しています。このエンジン潤滑油は全合成油で熱放出率が 50% 高く、より大きくなったエンジンオイル・クーラーを流れる際に最適な温度に保たれるため、常に最適なエンジン油圧を維持します。

アストンマーティンのフロントエンジン V12 スポーツカーとしては初めて、かの有名な ZF8 速 AT とエレクトロニック・リア LSD (E-diff) の組み合わせも採用されました。E-diff は ESP (横滑り防止装置) に統合されて車の動的挙動に直接つながっているため、ホイールのスリップにリアアクスル全体で対応し、あらゆるコンディション下でトラクションを最適化することができます。

E-diff は従来の機械式 LSD とは異なり、フルオープンから 100% ロックまで 135 ミリ秒で移行できます。最新の ESP 技術と組み合わせることで動的能力が大幅に向上するため、低中速のコーナリングでの敏捷性が高まると同時に、オーバーステア時や高速でのレーン変更時のコント

ロールも強化されます。こうして E-diff は Vanquish の動的特性にとって極めて重要な要素となっており、タイトなコーナーではステアリングの動きに対してより強い旋回で応えて車を「締め」ながら、高速でカーブを駆け抜けるときには確実な安定性と落ち着きをもたらします。

最終減速比 2.93:1 で最高速度実現のために最適化されている Vanquish は、最高速度が 345km/h (214mph) に達します。新しいトランスミッションのキャリブレーションによってシフト速度とドライバーに対するレスポンスが向上し、新型モデルの運転とパフォーマンスのフィーリングがさらに高められています。

アストンマーティン最高技術責任者 (CTO) のロベルト・フェデリは次のように述べています。「アストンマーティンの新型フラッグシップに搭載するエンジンには、最先端の V12 以外はまったく考えられませんでした。このため、当社のエンジニアリング部門はブロック鋳造からシリンダーヘッドまで、既存の 5.2 リッター・ツインターボエンジンの完全な見直しを行いました。出力とトルクの向上に関する野心的な数値の設定に加え、ドライバビリティと効率性の向上、世界的な排出基準遵守についても同様に難しい目標を狙い、結果として現代の傑作が誕生しました。同じカテゴリーで他の追随を許さないパフォーマンス特性を実現した傑作です。こうして Vanquish は、強い主張を表明しています。Vanquish の豊かな力と高い誉れを唯一上回ることができるのは、その創造に注ぎ込まれた情熱と技術力だけなのです。」

ボディ構造

これほど強力なパワープラントには、それに匹敵する比類ないシャシーが必要です。構造的剛性に新たな基準を打ち立て、完璧にチューニングされたダイナミクスを実現できる最先端のサスペンションに、究極の土台を提供するものでなければなりません。

名高い歴代モデルの DB12 や Vantage と同様に、Vanquish も接着アルミシャシーにダブルウィッシュボーン式フロントサスペンションとマルチリンク式リアサスペンションを備えています。焦点の定まった、反応性の高いダイナミクスを実現するため、アンダーボディは剛性を強化する部材によって、アストンマーティンの前フラッグシップ DBS 770 Ultimate に比べ横剛性を 75%向上させています。

ホイールベースが約 80mm 長くなったシャシー (A ピラーとフロントアスクル間の部分が延長) には剛性の高いエンジックロスブレースが採用され、フロントサスペンションタワー間のねじれ剛性と横剛性を高めています。これにより、Vanquish で新たに採用されて専用のキャリブレーションを施されたビルシュタイン DTX ダンパーの取り付け剛性が向上し、ダンピング性能の効率化と微調整の強化を実現しています。

新しいフロントアンダートレイとフロントクロスメンバーも、さらなる剛性向上に一役買っています。厚さを増したフロントアンダートレイはフロントサブフレームの水平剛性を支え、ステアリングフィールとレスポンスを向上させています。ダブルウィッシュボーン式フロントサ

スペンションの取り付けポイントの剛性向上を狙って再設計され、後方に配置変更された新しいクロスメンバーは、オンとオフセンターのステアリングフィールを明確に改善しています。

リアスペンションタワー間は横方向に強化され、新しいビルシュタイン **DTX** ダンパーの取り付け剛性を高めて安定性を向上させると同時に、ボディとスペンション、リアアクスルの一体感を強めています。一連の構造的な改良の最後は、リアアンダートレイです。厚さを増したことでリアサブフレームの水平剛性を高め、リアアクスルの安定性の向上と車のダイナミックバランスの最適化を図ります。

シャシーのダイナミクス

Vanquish の開発要領で示された目標は、圧倒的な能力を持ったフラッグシップの創造でした。**GT** モードではあらゆる種類の道でベストを発揮して長距離のドライブでもリラックスした安全なフィーリングをたやすく得られ、アグレッシブな **Sports** および **Sports+** のダンパーモードが必要になるのはドライバーが高度で強力な性能と特性を望むときだけでなくはなりません。

柔軟で落ち着いた走りと究極のパフォーマンスの両方を実現するため、**Vanquish** では乗り心地とハンドリングのバランスに特に厳しく注意を払っています。高くなったボディ剛性を活用してフィードバックとダイナミズムを向上させたほか、横剛性の強化によってフロントアクスルの荷重伝達を向上させてフロントエンドのレスポンスを高めています。

最初に **DB12** で採用された最新のビルシュタイン **DTX** ダンパー技術も導入され、それぞれのドライブモードに大きく異なる表情を持たせています。ダンパー力の幅が広がったことで、ドライブモードごとの設定の微調整とコントロールの幅も広がります。ダンパー反応は超高速で、**GT** モードでは素直な乗り心地を保ちながら敏捷性とレスポンスを向上させています。動的特性の新しい設定である **Sport** モードと **Sport+** モードでは、順次レスポンスを高め、ボディ・コントロールをよりタイトにすることができます。

動的挙動とレスポンスを強化するため、直径の大きいアンチロールバー (**ARB**) でシャシーのロール剛性が高められています。ボディ剛性の強化でシャシーに堅固な土台が保証されたところで、微調整とコントロールのバランスを維持するためにスペンションブッシュの剛性も最適化されました。これにより、路面からの不要なフィードバックを最小限に抑えながら、最適なスペンションコントロールとステアリングフィールを保つことができます。

Vanquish のステアリングシステムは、ドライバーと車の最も主要な接点として、精度、レスポンス、フィードバックに焦点を当てています。ノンアイソレイテッド・ステアリングコラムの採用で、ドライバー、ステアリングホイール、ボディがそのままつながり、ダイナミックなフィーリングがさらに強化されます。

電動パワーアシスト・ステアリングシステム (**EPAS**) は、リラックス感と信頼感のある洗練されたオンセンターフィールの実現に重点を置いて再キャリブレーションされました。

Vanquish は最高のステアリング精度と路面からの詳細なフィードバックでスポーツカーとしての性格を明確に発揮しますが、その性格がドライビングを支配することはありません。

可変的な、車速感応式アシストとロック・トゥ・ロック 2.27 回転で操作を楽にするステアリングは、選択されたドライブモードによってアシストのレベルが変わります。GT モードの通常の運転条件下ではバランスの取れた重み付けが行われ、よりアグレッシブなモードではタイトで重みのある、ダイナミックなフィーリングが得られます。

ほぼ無限の設定が可能で、Vanquish の全体的なダイナミックコントロールシステムに完全統合され E-diff は、各ドライブモードの特徴的な性格を実現する立役者であり、極めて幅広いダイナミクスでドライバーの気分や周囲の状況に即座に適応することのできる車を可能にする鍵を握ります。

従来の機械式 LSD に比べると、E-diff の利点には画期的なものがあります。純粋にパフォーマンスだけを見た場合、E-diff は中立的なバランスを保つことで低速時の敏捷性と同時に高速時の安定性を大幅に高め、トラクションを最大化しながらコーナー脱出時のハンドリングバランスも向上させます。また、濡れていたり一部に雪や氷があるなどでグリップが変化する路面を管理する場面ではより効果を発揮します。

最も重要なのは、新しい最先端の ESC（横滑り防止装置）システムに E-diff を完全統合できる点です。最初に DB12 と Vantage で導入され、現在では最新の制御機能を持つ新しい ESP システムは、ドライバーに対する運転支援強化と最大限の安全確保を目的に設計され、Vanquish 独自のチューニングと応用が施されています。システムは段階的なダイナミックコントロールとシームレスに統合され、最先端のアルゴリズムによって最適なグリップレベルを予測しながら急な介入を避けると同時に、車両が不安定になる瞬間にも反応します。

この予測技術では、6 軸加速度計、車輪速度センサー、舵角センサー、ペダル角度センサーからの入力を継続的に評価する一連のインテリジェントなコントローラーやソフトウェアモデルを使用します。こうしてマスターコントロールユニット内にその時点における状況のシナリオをデジタルに構築することで、すべてのアクティブシステムの力を最大限発揮させることができます。

インテリジェントモデルをベースにしたコントローラーを使用することで、システムで車両の挙動を予測してドライバーには感知されない微小な調整を行い、自然な感覚のパフォーマンスを実現しながら、個々のモジュールのパフォーマンスを向上させるための精度の高い推定を行います。システムではあらかじめ 4 つの ESP モード（「On」「Track」「Off」「Wet」）が用意されています。モードはセンターコンソールの ESP ボタンで選択できます。Wet モードはドライブモードと関連付けられ、路面のグリップが低いときに安定性を向上させます。

アストンマーティンのフラッグシップ・スポーツカーとして、Vanquish はカーボンセラミック・ブレーキ（CCB）システムを標準装備しています。フロント 410mm、リア 360mm のディ

スクから構成される CCB システムはブレーキ性能を向上させるとともに、最大 800° C までの温度でブレーキ・フェードを低減します。バネ下重量の大幅な削減（鋳鉄製ブレーキに比べ 27kg）も、乗り心地とハンドリングを向上させています。

ブレーキ冷却には、フロントバンパーのエアインテークから空気を取り込んで直接ブレーキにエアフローを送り込む、専用の冷却ダクトが使用されます。

新しいモデルベースの ABS システムでは、4 つの新しいコントローラーを使用して統合ブレーキ・スリップ・コントロール（IBC）、統合トラクション・コントロール（ITC）、統合ビークル・コントロール（IVC）、統合ビークル・ダイナミクス推定（IVE）を制御します。これらを合わせて 1 つの統合ビークル・ダイナミクス・コントロール・システムを構成し、従来のシステムに比べて停止距離をはるかに改善し、ダイナミクス性能とコントロールを新たな次元へと引き上げます。

例えば、IBC ではコーナーにおける摩擦を最大限活用することで停止距離を改善します。ブレーキ制御を行う場面におけるスリップ学習と合わせ、E-diff との統合を活用して車のバランスをとりながら、コーナー奥までブレーキ制御を可能にして、比類ないパワー、安定、コントロール感を生み出します。

Vanquish は、パートナー企業の最新技術と社内エキスパートのダイナミクスに関する専門知識を活用した「コーナー・ブレーキング 2.0」の恩恵を受ける最初の次世代スポーツカーです。コーナー・ブレーキング 2.0 は IBC と IVC の各モジュールの連携を強化することで予測による最適化を行い、トレイルブレーキングしつつコーナーに進入するときに安定を保つことができます。

このように、安定性を犠牲にすることなくリアのブレーキ力を活用することで、Vanquish はよりタイトな線を描いてコーナーに進入していくことができます。リアの力の活用で、ドライバーは遅くブレーキをかけることができます。スリップ・トルク・ベクタリングによってスムーズでリニアな走りをこれまで以上に感じられるほか、ペダルのフィーリングも、必要あればスライドからの回復も向上します。

Vanquish はレーストラック用のモデルではありませんが、このような特徴はアストンマーティン全体の動的能力を示すものとなっています。このような能力の深さと精密なチューニングが、特にその性能の極限を探りたいと望むドライバーにとって、Vanquish のドライビングエクスペリエンスを一段とレベルの高いものにします。

路面との接地面積を最大化すべく、Vanquish は 21 インチ鍛造アロイ・ホイールと専用設計のピレリ P-Zero™ タイヤを標準装備しています。戦略的ホイール・サプライヤーであるピレリとの密接な協力の下、アストンマーティンのエンジニアたちはこの軽量ホイールの構造を最適化して重量を最小限に抑えると同時に、デザイン特性を犠牲にすることなく耐久性と動的性能を

最大限まで高めました。最先端のシミュレーションを使用して余分な重量をすべてなくすことで、これまでの 21 インチホイールよりさらに軽くなっています。

スーパーカーのパフォーマンスとウルトラ・ラグジュアリーな走りという Vanquish の唯一無二の組み合わせのバランスをとるため、アストンマーティンはピレリと緊密に連携してビスポークのサマータイヤとウィンタータイヤのコンパウンドを開発しました。サマータイヤでは、ピレリはカスタマイズされたコンストラクションに P Zero™ (PZ4) のトレッドデザインを採用しました。この新しい P Zero™ は、先進的な技術的特徴と最先端素材で、アストンマーティンの厳しいパフォーマンス目標を満たしています。寒冷気候用には、PZERO Winter 2 が卓越した安全性を提供しています。このタイヤは雪上で優れたブレーキ性能を発揮し、EU ラベルでウェットコンディションについて A 評価を獲得しています。

夏・冬両方の装備でアストンマーティンの運転快適性に関する要件を満たすため、Vanquish P ZERO™ (PZ4) はピレリ・ノイズキャンセリング・システム (PNCS) を装備しています。これは、タイヤ内の騒音吸収装置によって車の室内の騒音を半減できる技術です。

アストンマーティン・ビークルパフォーマンス担当取締役のサイモン・ニュートンは、次のように述べています。「Vanquish は、一新して新たな勢いを生み出しているアストンマーティンのラインアップにさらなる局面を開きます。新型 V12 エンジンは伝説的な性格で、アイドルより少し上から強力なトルクを発揮し、トップエンドでは真に擽猛な姿を表します。まさに並外れたエンジンです。この限りない推進感には、それに見合うコントロールと精巧さが必要でした。私たちはこれを、新しい DTX アダプティブ・ダンパー、E-diff、最新世代のエレクトロニクスの膨大な可能性をさらに探っていくことで達成しました。また、ピレリと密接に連携し、Vanquish だけの専用設計タイヤも開発しました。結果として生まれた動きの精度、圧倒的なパフォーマンス、ラグジュアリーな洗練の組み合わせは唯一無二の特別なもので、その多様な幅広さはまさに Vanquish の名にふさわしく、当社のヒーローモデルに新しい基準を確立します。」

デザイン - エクステリア

外観のデザイン言語を一新した Vanquish は、引き締まった体格、広々としたたたずまい、流れるような曲線で現代的なエレガンスを表現しています。人の心を惹きつけてやまない魅力的な存在感を生み出す鍵は、長くなったホイールベースにあります。A ピラーとフロントアクスルとの間の距離が 80mm 長くなったことでボンネットも伸び、粋で耽美的な輪郭が描き出されます。

フロントエンジン部分の比率が大きくなったことで爽快なスピードとパワーを感じさせ、そのティアドロップ（水滴）の形はフロントからリアへと押し出される膨大な推進力を表しています。それはまた、過去と現在のアイコン的な歴代アストンマーティンからインスピレーションを得たものでもあり、アストンマーティンとモータースポーツとの深いつながりにも由来し

ています。特に、今日の F1 マシンに見られる複雑な機能的なディテールと、1960 年代に量産モデルをベースにル・マン出場のために開発された、恐ろしく高速な「プロジェクトカー」のすっきりと流れるような形状を思わせます。

このモータースポーツの DNA は、彫刻のような造形のボンネット、F1®にインスピレーションを得た V12 エンジン冷却用のルーバー、失速の原因となるドラッグを削減するためにかつてプロジェクトカーに顕著に見られた特徴的なカムテールなど、Vanquish をよく表す要素にも見られます。これらを含む各種ディテールの調和のとれた融合が、デザイン的なフォルムと技術的な機能が本能的な熟練の域に達していることを示しています。

アストンマーティンのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーであるマレク・ライヒマンは次のように述べています。「Vanquish は当社のスポーツカーにおいてアイコン的なヒーローモデルという位置付けになっています。私たちは予期されるもの、合理的なもの、深く考慮されたものを超えたデザインを常に追求しています。

Vanquish では、強大なパフォーマンスと尊大な意図を表現しつつ、まれにしか目にするのではない紛れもないエレガンス感でその劇的な性格を和らげています。全体を通して予想できないようなデザインを実現すべく、勇気と好奇心を持った取り組みが行われました。ティアドロップ型のエクステリアは、まったく新しい外観のデザイン言語を用い、フロントエンジン部分を拡大しました。インテリアでは真のドライバーズカーという焦点に、レベルの高いラグジュアリーと最先端技術を組み合わせています。純粋な興奮の創造の裏には大きな情熱があります。新型 Vanquish は恐れ知らずの創造性と人間の知恵の最高の到達点を示すものです。新たな次元のウルトラ・ラグジュアリーなパフォーマンスを、ブリティッシュなクールさを持ったスポーツカーのスタイリングと組み合わせることで、歴史に残る最高のアストンマーティン V12 フラグシップ・モデルが誕生しました。」

リアボディの幅が DBS 770 Ultimate に比べ 10mm 広がった堂々たるたたずまいが路上での存在感を増し、主張あるデザインの性格を生み出しています。Vanquish ではフロントバンパー、フェンダー、グリルのデザインが一新されました。従来の水平翼を備えたグリルは標準化されて開口部が大きくなり、DBS 770 Ultimate に比べて 13%広い表面積で 835PS のエンジンの冷却を助けます。新しいアウターバンパーベントはノーズ周りの空気を導き、冷却用の空気をフロントホイールアーチに誘導してブレーキの冷却を助けます。

マトリックス LED ヘッドライトは、一体型のデイタイムランニングライト (DRL) と共にブランドの新しいライトライティングネチャーも装備されます。ライトには、ヘッドライト内部に刻まれたアストンマーティンのワードマークなどの細かいディテールが施されています。

全体的なデザインの中で最もドラマチックな要素が、パノラミック・ガラスルーフです。アストンマーティンの V12 モデルでは初めて採用されたこの豪華な仕様は、Vanquish に標準装備されます。光透過率 6%のティンテッドガラスは低放射率コーティングで有害な UV-A、UV-B

の紫外線から乗員を守るため従来のブラインドは不要で、常に広々とした空間とスピードを楽しむことができます。

どのアストンマーティンでも最もアイコンックなデザイン要素となっているのが、特徴的なサイド・ストレーキです。彫り込まれたようなインフィル・パネルで、**Vanquish** 独自のシグネチャーが存在感を放ちます。標準装備では、サイド・ストレーキはグロスブラックのサイド・インフィル・パネルを背景に目立つブライتكローム仕上げですが、オプションのエクステリア・アッパー・バックでカスタマイズすることもできます。過去のアストンマーティン同様、赤の「V12」のモチーフの装飾が、歴史の重みを感じさせるさりげないディテールとなっています。

アストンマーティン的な要素としてすぐにわかるもう 1 つの特徴が、軽く押すかリモートキーでドアを開くと電波を受信して飛び出る格納式ドアハンドルです。フレームレス・ドアミラーは、より小型で滑らかなデザインで **Vanquish** の空力特性を向上させると同時に反射面の表面積を最大化し、後方に最大の視認性を確保しています。

Vanquish のデザインの劇的なうねりはリアで最高潮に達します。幅広い、強力なリア部とデッカリッド・スポイラーと一体になった、容赦ないまでに急なカムテールがフロントからリアに向かって空力バランスを実現しています。リアには、純粋にスタイリングだけのために設けられ、リアに浮かんでいるように見えるデザインの「シールド」もあります。このステートメント・パネルにはアストンマーティンのワードマークが誇らしく表示されます。これは、カーボンファイバーやボディカラーの各種仕上げでカスタマイズすることができます。

シールドを囲むのは、新しい LED ライトブレードです。最初に **Valkyrie** で導入された、7 つのブレードから構成される複雑なライトのレイアウトはモダンかつシンプルなデザインでありながら、日中と同様に暗闇の中でもすぐに **Vanquish** とわかることを保証します。

リアをまとめるのが、車幅全体に延びるディフューザーです。車体の下を通る低圧のエアフローを導くことで高速走行時の安定性を向上させます。新しく開発されたステンレススチール製のエキゾーストシステムは独特な形状のマフラーを備え、見事なクアッドテールパイプが配置されています。これらによって広がる周波数と共振が、**V12** の素晴らしい咆哮を発する血統の伝統を **Vanquish** に伝えていきます。**Vanquish** では究極のサウンドのためにオプションでチタン製エキゾーストシステムも用意しています。このオプションでは、小型マフラーでより明確で大音量の魅力的な **V12** サウンドを実現しながら、**10.5kg** の軽量化を果たしています。

デザイン - インテリア

Vanquish のインテリア全体を通して見られる中核的なテーマは、「クラフトマンシップ」と「精度」です。**2+0** スーパーGT として意図的に設計されている **Vanquish** のインテリアは、ドライバーを楽しませることと、その官能的な体験を 1 名の同乗者だけと共有することに焦点を絞ったものになっています。

アストンマーティンのすべての次世代スポーツカーにおいて大きな飛躍を遂げている新しいインテリアのアーキテクチャを土台にして、**Vanquish** では独自のレイアウトを展開しています。センターコンソールを水平面に下げることで、明快さ、広々としたスペース、ラグジュアリー感を生み出しています。

また、各種素材を組み合わせることで、各部を大胆に目立つラインで区切り、ラグジュアリー感と上質感をさらに高めています。ジュエリー・パックにかかわらず、ダッシュボードには従来のステッチに代わり、さりげないブライトクロームの水平線が横に伸びます。

インテリアがタッチスクリーンに支配されることの多い現在のテクノロジーの時代にあって、**Vanquish** はテクノロジーを手による操作と融合し、ラグジュアリー感と運転時の直感的な使いやすさを追求しています。このため、主要な操作機器類はすべて中央に集められ、頻繁に使用する機能に簡単に手を伸ばして操作できるようにして、ドライバー中心のインテリアの明快さとシンプルさを改めて強調しています。

その一方で、フルデジタルの **10.25** インチ **TFT** ドライバー・ディスプレイは最大限わかりやすく情報を届けられるように設計され、ディスプレイのカスタム設定も可能です。同様に、**10.25** インチのタッチスクリーンが、新たな配置のセンターコンソールに組み込まれ、第 2 の中心となっています。この新しいスクリーンでは、インフォテインメント、エアコン、車両の一般設定のすべての操作が行えます。

触ると冷たい金属製のロータリーダイヤル、ローラー、装備品は、このフラッグシップの製作を支えるクラフトマンシップと誇りを示しています。センターコンソールの中央に置かれた照明付きのガラス製エンジンスタート/ストップボタンでは、アストンマーティンならではの魅力的なエンジン始動が行えます。

照明付きボタンの周囲には、手触りの良い、機械加工された金属製のロータリーダイヤルがあり、ここでドライブモードが選択できます。**AT** の操作には新しい中央のレバーを使用し、ドライブ、ニュートラル、リバースを選択します。別に設けられたマニュアルボタンを使用すると、自動機能を無効にし、ステアリングホイールに備えられたパドルを使用した操作ができます。

Vanquish は、個性あるエンジン・サウンドでも知られています。ドライブモードの切り替え、または専用のエキゾーストボタンを使用することで、エキゾーストの性格を **GT** モードのゆったりと洗練された **V12** の音色から、**Sport** と **Sport+** の血気盛んで大胆かつ自信にあふれた性格のサウンドへと段階的に変えていくことができます。エキゾーストボタンでは、ドライブモードの選択とは別にサウンドをコントロールすることができます。

Vanquish は、アストンマーティンの次世代インフォテインメント・システムを採用する 4 つ目のモデルです。アストンマーティンのためだけに社内ですべてゼロから開発されたこのインフォテインメント・システムは、これまで **DB12**、**Vantage**、**DBX707** で採用されています。Apple iOS

版と **Android** 版の両方があるアストンマーティンの新しいスマートフォン用アプリと合わせて使用すれば、個人のデバイスと **Vanquish** との間で対話、操作、フィードバックが行えます。

ナビゲーション・システムはコネクティビティ機能を備えているため、よりスマートで迅速に豊富な情報を利用できます。例えばオンライン接続で簡単に好みのレストランを検索し、レビューを確認して目的地に選ぶことができます。また、出発前にアストンマーティン・アプリで目的地を選択し、車に送っておくこともできます。

3D マップ表示は直感的でわかりやすく、レーン案内とリアルタイム交通情報も表示されます。接続によって常時更新される情報に基づき、状況に合わせて経路案内が行われるため、不要な遅延が発生することはありません。衛星画像表示では走行場所に合わせて周辺の画像がダウンロード、表示されます。

世界のどこでもピンポイントな正確さを実現するため、アストンマーティンの新アプリとナビゲーション・システムはどちらも **what3words** による目的地入力に完全に対応しています。モバイル・デバイスのナビゲーション・アプリを使用したいドライバーのために、**Vanquish** はワイヤレスの **Apple CarPlay** にも対応しています。

インフォテインメント・システムは、コネクティビティ機能と完全に新しくなったアストンマーティン・アプリを中心に開発され、**Vanquish** の入出力・対話・操作機能を提供します。

コネクティビティ機能は使いやすさと安心感を向上させることに加え、使い慣れていて安全な個人のスマートフォンから車両の各種機能を更新できるようにします。アストンマーティン・コネクテッドカーのシステムは常に拡大を続けており、今後も利用できる製品やサービスが新しく増えていくに従い、進化していきます。

Vanquish で完全に新しくなったコネクテッドカーのエコシステムでは、車両、アストンマーティン・アプリ、アストンマーティンのセキュアなデータ・サーバーという **3** つの主要要素に支えられています。この **3** つの要素は、**Vanquish** 内の **e-SIM** を介して、グローバルローミングが可能で、アストンマーティンが提供する **4G LTE/GSM** セルラーネットワークを通してつながっています。車載パーソナル・デバイスが、関連データ契約に基づいて、アストンマーティン・アプリのホストとして機能します。個人データは、サイバー・セキュリティとクラウド保護に関する最新の業界基準に基づいて保護されます。

オーナーは新型 **Vanquish** 購入時に、アストンマーティン・アプリへの登録と **AML ID** の作成を案内されます。アプリは **Apple iOS** 版と **Android** 版の両方があり、コネクテッドカー関連の各種サブスクリプション・パッケージが用意されています。最高のオーナー体験を提供できるように設計されたこれらのパッケージは、最初の **3** 年間は無料で利用できます。

インフォテインメント・システムの新しい **UI/UX** のシームレスな一部となっている見やすく直感的なスクリーンには、個々の車両に合わせてパーソナライズされたコンテンツが表示されま

す。アプリでは、車の監視、位置の特定、保護が行えます。また、自分のアカウント管理や、メディア・フィードを通じたアストンマーティンのオーナー・コミュニティへの参加もできます。

大陸を楽々と横断できるように設計された車では当然のことながら、ドライバーと乗員の快適性は最重要項目です。スポーツプラスシートを標準で、カーボンファイバー製のパフォーマンスシートをオプションで用意する **Vanquish** の低い座面は、スポーティなフィーリングを与えながら、ダイナミックな走りに完璧なポジションともなっています。低いセンターコンソールとスカラップ型のドアパネルによって上半身周りに最適なスペースが確保され、激しい運転や操作の動きでも、ドライバーは腕を自由に動かすことができます。

Vanquish のリアも、同レベルのディテールと贅沢な仕上げがインテリアの隅々まで入念にデザインされています。彫刻のようなリアクロスブレースは、アクセサリーとして購入可能な美しいサドルレザーのラゲージセットのために専用に設けられた空間を明確に分ける、大胆な表現になっています。

精密なクラフトマンシップは、すべてのアストンマーティンの中核を成します。**Vanquish** で新しく登場したキルティングパターンにも、美しいディテールと個性が詰め込まれています。新しいキルティングパターンはスポーツプラスシートとリアのパーセルシェルフで使用されています。オプションでカーボンルーフが選択される場合、リアのパーセルシェルフのキルティングと同じキルティングがヘッドライニングにも施されます。

Vanquish も、アストンマーティンのすべてのモデル同様、**Q by Aston Martin** のパーソナライゼーション・サービスで無限のビスポークおよびカスタマイズの可能性を探求することができます。**Q** のデザイナーと職人の技を活用し、1つの小さな特徴的ディテールから真のワンオフを製作するための本格的なビスポーク部品の開発と製造まで、忘れがたいコミッションングを体験できます。

ヒーローモデルにふさわしく、**Vanquish** はアストンマーティンのオーディオ・パートナーである **Bowers & Wilkins** の最高のシステムを標準装備しています。**Vanquish** のためだけにチューニングされ、シームレスに統合された **15** 個のスピーカーとダブルアンプのサラウンドサウンドシステムが聴く人の心を虜にするサウンド体験を実現します。

台数限定のセンセーショナルな新型 **Vanquish** は、現在オーダーを受け付け中です。最初のデリバリーは **2024** 年第 **4** 四半期を予定しています。**All will be Vanquished.**

- ENDS -

編集者向け注記:

V12 の血統

アストンマーティンと V12 エンジンとの密接な関係は 1998 年の「プロジェクト Vantage」から始まりました。それは市販車に近いコンセプトカーとして 5.9 リッター V12 エンジンを搭載し、後に初代 Vanquish となるモデルのデザインと、先進的なカーボンファイバーおよびアルミニウムのシャシー構造を予告していました。

プロジェクト Vantage を発表してわずか 1 年後に、アストンマーティンは DB7 Vantage を発売します。アストンマーティン初の V12 エンジン搭載量産モデルであった 420bhp のマシンにはクーペとヴォランテの両方のボディスタイルが用意され、大人気を博して販売は 2003 年まで続きました。同じ頃、2001 年に発売され大絶賛された 460bhp の V12 Vanquish も生産されていました。

その後、パフォーマンスの大幅な向上と、それに見合ったシャシー、ブレーキ、エアロダイナミクスのアップグレードによって、527PS (520bhp)、321km/h (200mph) の V12 Vanquish S が誕生しました。2004 年発売で 2007 年まで生産が続いたこのモデルは、アストンマーティンの最もアイコン的なモデルとしての Vanquish の位置付けを確立し、総販売台数は 2500 台を超えました。

次の後継モデルは、アストンマーティンのもう 1 つの偉大なモデル、DBS への回帰となりました。受賞実績のある接着アルミニウム製の VH プラットフォームを土台に、筋肉質のボディワークにカーボンファイバーを広範に活用した新型 DBS は 2007 年から 2012 年の間に生産され、アダプティブダンピング、カーボンセラミック・ブレーキ、マニュアルシフトとパドルシフトが選べる ATなどを備えていました。

Vanquish の名は、2012 年に華々しく戻ってきました。2 代目は、今では伝説となった 5.9 リッター V12 エンジンを搭載し、575PS (568bhp) の最高出力を誇っていました。(VH の構造の進化で積荷効率が向上したおかげで) 室内スペースもラゲージスペースも広くなった Vanquish は、快適性とラグジュアリー感が向上すると同時に、パフォーマンスとハンドリングも強化されていました。この傾向は、2016 年に発売されたさらに強力な 600PS (592bhp) の Vanquish S でも続きました。

2018 年には DBS Superleggera が登場しました。荒々しい美しさを持ったカーボンボディのこの新型フラッグシップは、完全に新しい自社開発の 5.2 リッター・ツインターボ V12 エンジンに 8 速のオートマチック・トランスアクスルを組み合わせていました。驚異的な 725PS、900Nm のトルクを発揮するアストンマーティンのこの新型スーパーGT は、真に比類ないパフォーマンスで、0-100km/h 加速はわずか 3.3 秒、最高速度は 340km/h (211mph) に達しました。

最後の生産年に、アストンマーティンは限定エディションの **DBS 770 Ultimate** でこのフラッグシップ・モデルのパフォーマンスと魅力をさらに高めました。エンジン出力を **770PS** にアップし、よりシャープな動きを実現できるようにシャシーをチューニングされた **Ultimate** は、それまでの基準のレベルをさらに上げて歴代モデルを超え、**DBS** の花道を華々しく飾りました。

V12 の物語の第 1 章が幕を開けてから四半世紀以上がたち、ウルトラ・ラグジュアリー・ブランドであるアストンマーティンの 111 年の歴史の中で最も強力な実力と魅力のある量産のフラッグシップ・モデルとして、3 代目 **Vanquish** が新しい走りの時代の到来を告げます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-lAw8bnVKjZ>

<https://youtu.be/fBiRUvB2aqo>

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、**Vantage**、**DB12**、**DBS**、**DBX**に加え、同社初のハイパーカーである**Valkyrie**など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは**2025**年から**2030**年にかけて、**PHEV**と**BEV**を含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーと**SUV**のラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で**50**以上の国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリー**SUV**の**DBX**は、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、**2030**年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは**1899**年に設立され、**1947**年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「**Aston Martin Lagonda Global Holdings plc**」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific
有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

Marketing & Communications Manager-Japan
松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp